

- 01.04 DLT（ドナーリンパ球輸注療法）希望患者申請受付開始
- 01.― 非血縁者間骨髄移植2400例突破
- 01.― インターネットによるHLA照合サービス開始
- 03.― 非血縁者間骨髄移植2500例突破
- 03.19 第3回公開フォーラム「より機能するシステムを」参加（東京）
- 04.― 財団、厚生省、日赤はドナーの採血を医師のいる企業内診療所にも拡大する方針決定
- 04.22 ハートフルサタデーin福島参加（福島市）
- 04.29 「キャンペーンドナー登録会説明員養成研修会」開催（福島市）
- 05.― 非血縁者間骨髄移植2600例突破
- 05.18 佐野骨髄バンクチャリティゴルフコンペ参加（佐野市）
- 05.28 県南保健所「骨髄バンク休日ドナー登録」（54名登録）（白河市）
- 06.03 全協設立10周年記念&NPO発足記念大会参加（東京）
- 06.04 全協第11回通常総会出席（東京）
- 06.― 非血縁者間骨髄移植2700例突破
- 06.18 県協議会第8回定時総会開催（ビッグパレットふくしま）
- 07.02 ハートフルin泉崎、創作劇オーディション開催（泉崎村）
- 07.22 南会津保健所「骨髄バンク休日ドナー登録」（17名登録）（田島町）
- 07.26 あやちゃんの贈り物展開催（福島市）（30日まで）
- 08.― 非血縁者間骨髄移植2800例突破
- 08.06 骨髄バンクチャリティNTT杯全会津ダブルステニス大会参加（会津若松市）
- 08.30 新井英一チャリティコンサート開催（福島市）
- 09.24 ハートフルin泉崎、創作劇「このゆびとまれ」上演&大石邦子講演会開催（泉崎村）
- 09.24 骨髄バンクチャリティ東北空手道選手権大会参加（福島市）
- 09.30 岐阜県大垣博にていのちのあさがお贈呈式出席（大垣市）（1日まで）
- 10.― 非血縁者間骨髄移植2900例突破
- 10.19 骨髄バンクを支援するつどい手芸展（いわき骨髄バンクを支援する会）
- 10.19 あやちゃんの贈り物展開催（いわき市）（24日まで）
- 10.28 磐共祭にて「骨髄バンク休日ドナー登録」（28名登録）（いわき市）（29日まで）
- 11.― 非血縁者間骨髄移植3000例突破
- 11.06 第4回骨髄バンクチャリティゴルフコンペ開催（矢吹町）
- 11.07 ハートフルサタデー117献血運動にて「骨髄バンクドナー登録」（24名登録）（郡山市）
- 11.07 県内キャラバン、県内各地事業所訪問実施（県内巡回）（9日まで）
- 11.11 サントフローリアンピアノ三重奏団チャリティコンサート開催（いわき市）
- 12.07 大泉逸郎チャリティコンサート（郡山市）
- 12.09 骨髄バンク推進全国大会in京都参加（京都市）（10日まで）
- 12.17 IY郡山店にて励ましのメッセージ開催（郡山市）
- 12.19 励ましのプレゼント贈呈（郡山市）
- 12.24 ラジオ福島チャリティミュージックソン、通りゃんせ募金活動（県南各地、郡山市、いわき市）

■ドナー登録説明員養成研修

キャンペーン型ドナー登録会の増加に伴うドナー登録時の説明員不足が生じ、財団管理のもとボランティアによる説明員制度がスタートしました。それを受けて、2000年4月29日に説明員養成研修会を開催しました。この日は財団より講師を招き、基礎から実践までをみっちり勉強し、自由意志であるドナー登録行為にどのようなスタンスで説明員は向かえばいいのか、不安を与えない説明のしかたとは、そもそも説明員とは何かなどを学びました。

■新井英一骨髄バンクチャリティLIVE

筑紫哲也ニュース23のエンディングテーマに選ばれ話題となった男、新井英一さんの骨髄バンクチャリティLIVE in福島を、2000年8月30日、福島市で開催しました。そのゆるぎない心から発せられる歌声は、生きることへの迫力を感じるものでした。

■創作劇「このゆびとまれ」上演

県協議会県南支部と地元の劇団員がキャストを務める創作劇「このゆびとまれ」を、2000年9月24日に泉崎村で上演しました。プロデュースは地元在住のプロにお願いし、骨髄バンク普及啓発のシナリオで見事な演技を披露しました。上演後は大石邦子さんの講演で、骨髄バンクの必要性を町民の皆さんにお話していただきました。

■東北空手道選手権大会

2000年9月24日、毎年恒例となった東北空手道選手権大会で骨髄バンクのPR活動をしました。試合では毎年流血が見られ、その真剣勝負に圧倒されます。

■24時間チャリティミュージックソン

「目の不自由な方、体の不自由な方に音の出る信号機と福祉機器を」をスローガンに、毎年クリスマスイブの日にラジオの全国9局ネットで繰り広げられるラジオチャリティミュージックソン（福島県内はラジオ福島が放送）に、2000年12月24日正午から25日正午までの24時間、県南地方、郡山市、いわき市で数組に分かれ参加しました。参加形態は、「リヤカーサンタ」。リヤカーを引いたサンタクローズ姿の有志が、募金を呼びかけて夜通し歩きました。初めは、現在県南支部の運営委員であるMSさんがひとりで始めた行動で、ひとり猛吹雪の中でリヤカーを引きながら歩き、孤独と寒さで正直いのちの危険も感じながら完歩したことを、後に聞いた県南支部事務局長が、「ばか・・・」と翌年から参加し、現在では県協議会でも1日サンタとなり参加しています。